

文 化

飲み干した缶ビールの空き缶を踏みつぶす。目指すは世界新記録だ。といっても、ほとんどの方はそんな記録など聞いたこともないだろう。記録を狙うのは私が考えた「缶つぶし」という単純なゲームである。地面に置いたアルミ缶を踏みつぶして計測し、数値化したつぶれ具合を競う。

きっかけは一九九六年、海でこけシーカヤックの仲間と海岸でキャンプをしていた時のことだ。飲んだビールの空き缶は艇に積んで持ち帰るので、かさばらないようにする必要があった。足で



缶をつぶす筆者。バランスを取るのが意外に難しい

踏みつぶすうちに「そう、これをゲームにしよう」と思いついた。

◎ ◎ ◎

「高さ×2+幅」で算出。同年十月に三重県大紀町で催したシーカヤックイベントで初披露したら、酒の勢いもあり大いに盛り上がった。ゲストに招いた岐阜県在住の英国人冒険家、ジョージ・ミーガンさんの「ゲームを広げる組織をつくったらしい」との助言もあり、国際CANつぶし協会(ICCS)が誕生した。現在は考案者の私が会長をつとめている。

ゲームは一辺九十センチの正方形の合板に、一辺五十センチの正三角形を描いた

せるかが勝負となる。そんなの簡単だと思われながらも、なかなかつぶれない。だが

缶つぶし 狙え世界新

◇空き缶を踏みつぶして小ささを競うゲーム考案◇

阿部 年 雄

力みすぎて失敗し、すっかりはまる人も多い。

◎ ◎ ◎

米国にも支部誕生

缶はこちらで用意する。使つのは洗って乾かしたビールやチューハイの三百五十ミリ缶で、つぶれた缶やサイズ違いの缶、固いスチール缶は取り除く。缶集めの大役を担うのは、三重県でドラ

イブインレストランを経営する協会の「缶供給本部長」で、観光バスからゴミとして降ろされた缶をためておいてくれる。専用の計測器も電気工事に従事するメンバーが開発した。缶を両脇から挟み、厚みと幅の両方を測る。缶に接する部分は傷が付きやすいので、高

思わぬ新記録達成

近年は記録も数センチの争いになっている。メンバーがプレス機で実験したところでは、理論上は九〇センチまで記録を縮められるそうだが、四年前

級セラミックを張り付けるといふ念の入れようだ。何でも現在開発中のものは電子式で、高さと幅を自動的に測れるという。いい大人が何を夢中になつてと思つたが、私も大会のたびに怪しい合板を喜々として持ち歩いて

に滋賀県の消防士が二二センチの記録を出した後、しばらく世界記録は破られていなかった。

十一月四日、琵琶湖西岸、滋賀県高島市の知内浜で三年ぶりに「全国大会」と銘打った本格的な大会を開いた。そろそろ世界新が出るかと思つていたら、何と私自身が一〇七センチという新記録を出してしまった。酒飲みの言い訳に、少し大きめの五百ミリ缶で練習していたのが良かったのか。結果は海外支部にまで伝わったので、空港での説明が大変だった。当日は海が荒れ、船酔いで結果はさんさんだったが、日韓国境線上での対戦は貴重な思い出になった。

公明正大な勝負で出した記録だが、考案者が記録保持者というのは決まりが悪い。そこで来年春には東京で国際大会を開こうと考えている。これまでは他のイベントに間借りする形で開いていたが、今度は初の単独開催にするつもりだ。誰にでも世界記録のチャンスがあるのがこのゲーム。どうか皆さんも参加して、アンダー一〇〇に挑戦してほしい。もちろん私も一選手として参加するつもりである。(あべ・とし おい会社役員)